# 高砂の観詰ぶっく




一般社団法人 高砂市観光交流ビューロー
www.takasago-tavb.com

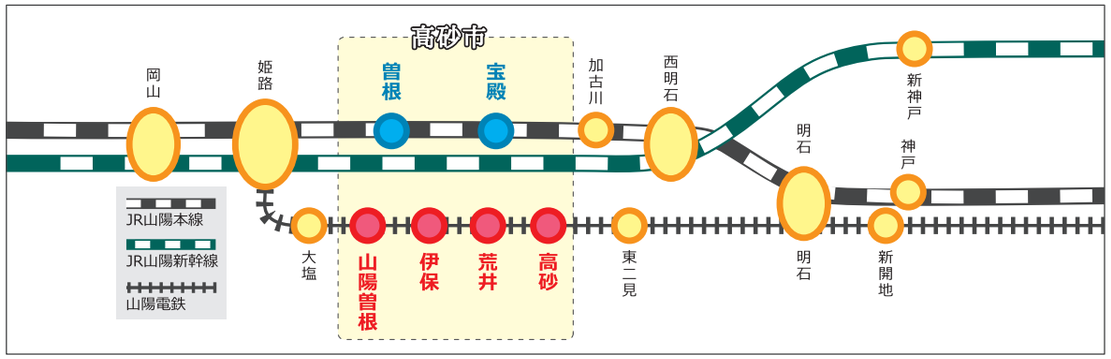
## 電車をご利用の場合

### JRをご利用の場合

**JR曽根**または**JR宝殿**で下車
（※JR姫路・JR加古川は新快速停車駅）

### 山陽電鉄をご利用の場合

**山陽電鉄大塩・山陽曽根・伊保・荒井・高砂**で下車
（※山陽電鉄大塩・高砂は特急停車駅）




## 自動車をご利用の場合

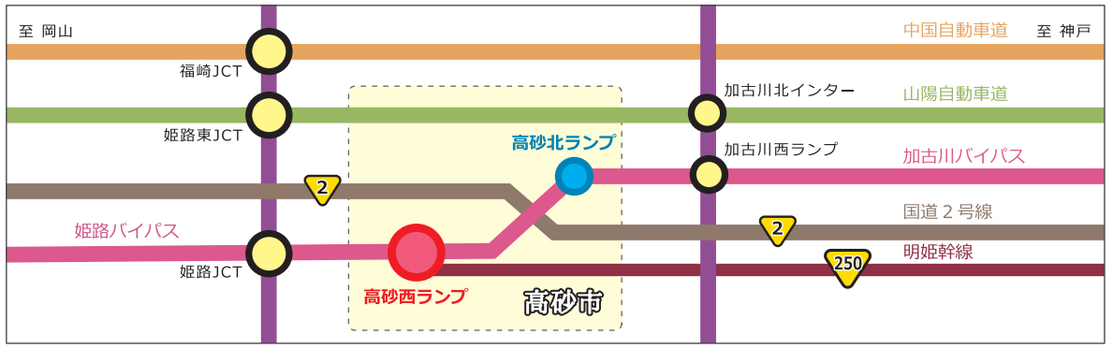
### 神戸方面よりお越しの場合

**加古川バイパス　加古川西インター　または**
**高砂北ランプ出口**
より市内各所へ

### 岡山方面よりお越しの場合

**姫路バイパス　高砂西ランプ出口　または**
**加古川バイパス　加古川西インター出口**
より市内各所へ

※加古川バイパス高砂北ランプは神戸方面行本線からの出口はありません。
※姫路バイパス高砂西ランプは神戸方面行本線への入口、姫路方面行き本線からの出口はありません。




## 市内の観光に便利です

### 高砂市内のバスをご利用の場合

1日乗車券400円の
じょうとんバスが便利です

詳細は高砂市HPから
http://www.city.takasago.hyogo.jp/index.cfm/13,0,131,html

### 高砂市内のタクシーをご利用の場合

| | |
|---|---|
| **荒井タクシー(有)**<br>079-442-4007 | **伊保タクシー(有)**<br>079-448-0587 |
| **(有)神鋼タクシー**<br>079-443-1321 | **高砂交通(株)**<br>079-442-0033 |
| **高砂タクシー(株)**<br>079-442-3646 | **はま交通**<br>079-254-2220 |

### 高砂のお土産・観光情報は・・・




**まちの観光会館　結びん（工楽松右衛門旧宅横）**
開館時間 9:00～17:00　TEL:079-441-8076

高砂の観詰ぶっく
発行日：令和元年8月

発行・編集
一般社団法人 高砂市観光交流ビューロー
〒676-0041
高砂市高砂町今津町533-1
TEL：079-441-8076
www.takasago-tavb.com

デザイン・印刷：株式会社 シールズ
〒676-0024
高砂市高砂町木曽町2-15
TEL：079-442-0136
ceals.co.jp

高砂市MAP

# ようこそ、高砂市へ！







誕生日：2009年3月19日
生みの親：相生の松
育ての親：尉と姥
名付け親：高砂市内小学生
趣味：高砂を散歩すること・友達づくり♪
使命：人と人の縁を取り持つ



高砂市応援大使：ぼっくりん

## 高砂市とは…

結婚式で謡われる「たかさごや〜この浦舟に帆をあげて〜♪」のフレーズで有名な**謡曲『高砂』**や披露宴で新郎新婦が座る席を**「高砂の席」**と呼ぶように、昔からおめでたい言葉の総称として使われる「高砂」とは、**ここ、高砂市のこと**なのです。

高砂市は加古川の河口で播磨灘に面し、**播磨平野の中央**に位置しています。面積は三十四・四平方キロメートルと兵庫県で二番目に小さい市です。現在の高砂市は臨海部に多数の大企業の工場が立ち並ぶ**播磨臨海工業地帯の中核の市**として発展しています。

そんな現在の顔とは別に、**歴史的景観形成地区**に指定され、平成30年には、**日本遺産**「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間〜北前船寄港地・船主集落〜」に追加認定されました。

**昔ながらの町屋や蔵**なども多く残されており、特に高砂町堀川周辺地域は江戸時代の姫路藩主、本多忠政が作った町割りが現在も残り、白漆喰の蔵や虫籠窓（むしこまど）、格子のある家々が軒を連ねるどこかレトロな町並みです。

平成18年に兵庫県の**海あり山あり**、今と昔が交差する高砂市を、是非お楽しみください。

CONTENTS


高砂市は「結びのまち」 3
高砂町 5
高砂市のイベント 11
竜山・米田 13
荒井・伊保 17
阿弥陀・中筋 19
高御位山 21
曽根・北浜 23
高砂秋祭り 25
工場見学 27
高砂市応援大使 28
高砂の偉人 29
ふるさと納税・観光案内所 30


## 各表記アイコン一覧

- **歴史** 歴史的価値のある場所
- **見どころ** 見どころのある場所
- **カフェ** 食事ができる場所
- **おみやげ** おみやげ品が購入できます
- **お買い物** 商品を購入/テイクアウトできます
- **ワークショップ** ワークショップや体験ができます
- **推奨品** 高砂市の推奨品を示すアイコン
- **にくてん** にくてん喰わん会参加店舗








# 高砂市は「結びのまち」

夫婦和合長寿を謡った謡曲「高砂」の舞台であり、固いちぎりで結ばれた夫婦にゆかりの場所なのです。昔からおめでたい言葉の総称として使用されている「高砂」もここから引用されています。
神話の時代より、夫婦や恋人に関する物語や伝承が多く存在し、「結び」や「夫婦和合」を象徴する文化財などが残る街――。　それがここ「結びのまち、高砂」です。

## 結びの伝承

### 1 ～尉と姥伝説と謡曲「高砂」～



#### 高砂神社（P5・P7MAP）

相生の松と尉と姥

神功皇后が高砂神社を創建して、大巳貴命をお祀りされて間もなく、境内に一本の松が生えました。
その根は一つで雌雄の幹が左右に分かれていたので、「神木霊松」と称えていたところ、ある日おじいさんとおばあさんがその松の下に現れて、
「我は伊弉諾・伊弉冉の神なり。我は神霊をこの木に宿し、世に夫婦の道を示さん」と告げられました。

人々はこの木を「相生の松」と呼び、この夫婦の神様を「尉と姥」として祀り、夫婦和合・長寿の象徴としました。

**謡曲『高砂』**

高砂や　この浦舟に　帆をあげて
この浦舟に　帆をあげて
月もろともに　出汐の
波乃淡路乃　島影や
遠く鳴尾の　沖過ぎて
はや住吉に　着きにけり
はや住吉に　着きにけり

～ あらすじ ～
九州阿蘇の宮の神主友成が、都にのぼる道すがら、播州高砂の浦に立ち寄り、有名な「相生の松」について、根方を清めていた尉と姥にたずねる。
我らは住吉と高砂の松の精であるとあかし、離れていても心の通う夫婦の道を示し、住吉にも立ち寄られよと去っていく。
友成は高砂の浦より舟に乗り、住吉へ向かい、そこで住吉明神が歓迎の舞にて迎えてくれる。

～ 解説 ～
室町時代の能作家「世阿弥」の作で、「高砂の松」と「住吉の松」とが「相生の松」であるとして、尉と姥が、もとはひとつ、離れていても、末永くかわらぬ夫婦の愛を寿ぎ、和合長寿の象徴であることから縁起が良いとして結婚式で謡われるようになりました。

### 2 ～日本初のプロポーズ～印南別嬢伝説～




#### 御所殿神社（P17MAP）

神話の時代の話です。
加古川の河口にあった「南毘都麻島」（現、高砂町付近）は、景行天皇が、求婚(プロポーズ)をした舞台となった場所です。
妃を求めて播磨に行幸していた景行天皇は、美しい印南別嬢に出会いました。
驚いた印南別嬢は南毘都麻島に隠れてしまいましたが、天皇は別嬢を追いかけて求婚し、船で六継里（現、高砂市内）に渡り二人は結ばれました。景行天皇と別嬢の間に生まれた子供が「ヤマトタケル」です。この六継里のいわれは「結び」が転じて六継となったと言われています。
小松原（荒井町）には、「御所殿神社」があり、印南別嬢が祀られています。

### 3 ～男神と女神伝説～



#### 生石神社と高御位山（P13・P21）

1348年(南北朝時代)に書かれた『峯相記』(江戸時代の観光マップ)には、生石の女神と高御位山の男神は夫婦であったとされており、二人の住む神殿を創ろうとしましたが、途中で夜が明けたため未完成となったものが「石乃宝殿」と伝えられています。
また、1762年(宝暦12年)に書かれた『播磨鑑』には、神代の昔、天磐舟に乗ってふたりの神様がこの地に来て、一人は大己貴命と称し「高御位大明神」、もう一人は小彦名命と称し「生石子大明神」と名乗りました。
ふたりは気持ちを合わせ50余丈の岩を切り抜き、石屑は一里(約４ｋｍ)北の高御位山の峰に投げ、一夜のうちに「石乃宝殿」を作り、二神が鎮座していると記されています。

KITAMAE-BUNE

JAPAN HERITAGE 日本遺産

# 日本遺産
# 「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」 に高砂市が追加認定されました。

## ＜日本遺産～北前船寄港地・船主集落～ストーリー＞

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。
これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

## 日本遺産構成文化財



### 工楽松右衛門旧宅（旧工楽邸）

〒676-0041　高砂市高砂町今津町532
TEL：079-490-4790
営業時間：9:00～18:00
定休日：12月29日～1月3日
P あり
＃旧工楽邸

江戸時代に、海運業や港湾改修などをおこなった、工楽松右衛門の居宅です。
日本の帆布製造の始祖として知られる初代工楽松右衛門は、高砂町東宮町に生まれました。
江戸時代の航海に革命的進歩をもたらした「松右衛門帆」の生みの親です。
丈夫な帆布を生みだした工楽松右衛門にまつわる資料などの展示もしています。

### 高砂堀川遺構

廻船や高瀬舟で高砂に運ばれてきた諸物資の荷揚場だった。
（工楽松右衛門旧宅駐車場内）



### 常夜灯

北前船も寄港した高砂港にあった常夜灯（高砂神社境内）



### 兵庫県高砂地区歴史的景観形成地区

江戸時代の町割りに町屋・社寺・明治～昭和の建築物が建ちならぶ。
北前船も寄港した港町





日本遺産の街並みを歩く

高砂町

# 縁結びや、夫婦和合を祈願して

## 高砂神社

〒676-0043　高砂市高砂町東宮町190
TEL：079-442-0160（社務所）
参拝時間：9:00～18:00
交通：山陽電鉄高砂駅より徒歩15分、タクシー5分
takasagojinja.takara-bune.net
＃高砂神社

謡曲『高砂』発祥の地で、境内には結納に欠かせない「尉と姥」（高砂人形）の由来となる霊松「相生の松」があり、人々の信仰を集めています。
高砂城跡でもあり、玉垣の基礎やひょうたん池の一部に石垣の石材が使われています。
夫婦の神様が3組もお祀りされている縁結びスポット！御朱印や縁結びのお守りもあります。
「結びのまち」高砂で、素敵なご縁を引き寄せてみてはいかがでしょうか。



五代目相生の松



尉姥神社



高砂神社の縁結びのお守り

## 周辺季節イベント情報

### 朝ごぱん市



日程：毎月第3土曜日
時間：8:00～11:00
場所：高砂銀座商店街
住所：高砂市高砂町鍛冶屋町

高砂銀座商店街が、多くの人で賑わいます。いろいろなグルメに野菜の販売、手作り雑貨などが並ぶ「ふろしきマーケット」など、お楽しみがいっぱい！



## 6 梅ケ枝湯

〒676-0063　高砂市高砂町次郎助町1593

入口側はレトロなモルタル造りだが、その裏側は「ハウルの動く城」の様な木と煉瓦の混構造。今でも薪でお湯を沸かす味わい深い銭湯です。
※外観のみ公開



## 5 旧朝日町配水塔

〒676-0021　高砂市高砂町朝日町1-2-1
（高砂市文化会館敷地内）

大正12年（1923）加古川の水を高砂町へ給水するために建設されました。
八角錘屋根の円筒型水槽を、6本の鉄脚が支えています。
国の登録有形文化財。



## 4 国鉄高砂線跡（腕木信号機・転轍機）

〒676-0038　高砂市高砂町栄町369

加古川駅から高砂駅までを結んでいた日本国有鉄道の線路跡です。現在は遊歩道になっている場所もあり、脇には腕木信号機や転轍機も残されています。



## 9 旧高砂消防会館・旧南本町巡査派出所

〒676-0047　高砂市高砂町南本町914

昭和10年に建設され、近年まで高砂分署として使用されていました。現在は旧高砂消防会館・旧南本町巡査派出所として復元されています。また、国の有形文化財にも登録されています。



## 8 魚町倶楽部

〒676-0053　高砂市高砂町魚町551

明治時代に神戸製紙（現 三菱製紙株式会社）の外国人技師宅として建てられた木造の洋館。庭には大きな木があり、明治浪漫を思わせる和洋折衷の建物です。
現在は職員用の厚生施設となっています。
※通常非公開



## 7 高砂商工会議所

〒676-0064　高砂市高砂町北本町1104
TEL：079-443-0500
受付時間：9:00～17:00
定休日：土・日・祝日

旧高砂銀行本店として建てられた昭和レトロな建物。兵庫県の景観形成重要建築物にも指定されています。
国の登録有形文化財。



## 11 十輪寺

〒676-0051　高砂市高砂町横町1074
TEL：079-442-0242

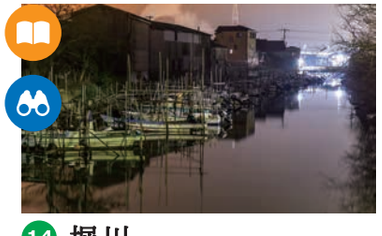
浄土宗西山禅林寺派の寺院で、本堂が兵庫県の重要有形文化財に指定されています。二重になった本堂の屋根と仁王門は必見です。



## 10 三連蔵

〒676-0047　高砂市高砂町南本町888

明治初期に建築された、お祝いの時に使う食器やお膳を収納する納戸です。壁は30cmもの厚みがあります。兵庫県の景観形成重要建築物に指定。
※外観のみ公開



## 14 堀川

加古川舟運と瀬戸内海航路をつなぐ拠点として、高砂の港を構築した時に開削した運河です。

万灯祭（水の灯り会場）➡ P.12 参照



## 13 出汐館

〒676-0025　高砂市高砂町西畑1-16-7

明治41年操業の鐘淵紡績高砂工場（現 カネカ）の管理職倶楽部として建設。
昭和11年築。大きなアールを持つ階段室やステンドガラスの階段窓が特徴の洋館です。現在は社員厚生施設として使用されています。
※外観のみ公開



## 12 申義堂

〒676-0051　高砂市高砂町横町1074-5
TEL：079-448-8255（市生涯学習課文化財係）
開館：10:00～16:00（土日のみ）※年末年始は休業

約200年前の江戸時代、高砂北本町に創設された、庶民の教育の場である学問所を復元。高砂庶民の教育の原点ともいえる場所です。
高砂市指定文化財に指定されています。



# 高砂町MAP




### 高砂市高砂町は・・・

山陽電鉄「高砂駅」下車。
歴史的景観形成地区は駅から南へ徒歩約10分。
山陽電車・高砂駅の南側に位置する高砂市高砂町は、平成18年には兵庫県歴史的景観形成地区に、平成30年には町並みそのものが「日本遺産」に選ばれた、歴史が息づく美しい街並みです。



## 3 松宗蔵

〒676-0032　高砂市高砂町東浜町1254
お問い合わせはビューローまで

1823年築造の米蔵を復元しました。外観は江戸時代の趣が残っていますが、中はフローリング仕様とモダンなつくりです。
※見学は要申込み



## 2 花井家住宅（高砂来て民家）

〒676-0036　高砂市高砂町高瀬町1511
TEL：079-443-5306
営業：水曜日 9:30～12:00
　　土・日曜日 9:30～12:00、13:30～16:00
　　※開館日時は、変更する場合があります。

江戸末期の古民家を「高砂来て民家」という別名で地域活性化の交流拠点としてオープン。漆喰の壁に虫籠窓が特徴です。
また主屋は、国の有形文化財に登録されています。

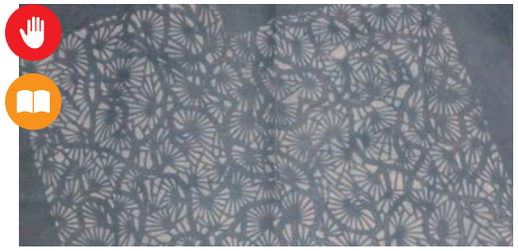


## 1 大崎家住宅

〒676-0037　高砂市高砂町藍屋町1667
お問い合わせはビューローまで

明治初年に、加古川水運を利用し材木問屋を始めた大崎家の隠居邸。当時の様子がそのまま残っています。
※見学は要申込み

# 高砂×体験　ご案内



## 2 高砂染「あいの会」ワークショップ

〒676-0036　高砂市高砂町高瀬町1511（花井家住宅）
TEL：079-443-5306
営業：水曜日9:30～12:00
　　土・日曜日9:30～12:00　13:30～16:00
　　（臨時休館あり）

江戸時代に幕府の献上品であったといわれる「高砂染」の模様は、高砂神社の「相生の松」がモチーフです。
昔ながらの「高砂染」の柄を使用し、丁寧に手作業で染め上げる体験をおこなうことが出来ます。

### 自分で染めてみませんか？
### 高砂染ハンカチをつくる

**ワークショップ概要**

**体験日**　要予約（開館日は左記参照）
**体験料**　1000円（税込）　**所要時間**　約3時間
**ワークショップのお申込みについて**
定員：最大8名 / 最少3名～実施（３名未満の場合は実施無し）






## 1 高砂水引工房「千和」

〒676-0041　高砂市高砂町今津町532
TEL：079-490-4790（旧工楽邸）
営業：梅結びストラップづくり 9:30～10:30/14:00～15:00
　　あわじ結び・梅結びポチ袋づくり 10:40～12:40

謡曲『高砂』の舞台、兵庫県高砂市。ここから伝統を守りつつ、新しい水引の物語が始まります。ちょっぴりレトロで可愛い水引細工。アクセサリーや雑貨のオーダーメイドもできます！人と人のご縁を結ぶ、折々のご挨拶に。

### 結びのまち高砂より
### 水引を使ってストラップやポチ袋をつくろう！

**ワークショップ概要**

**体験日**　毎週火曜日・第2･4土曜日
**体験料**　梅結びストラップ:1500円（税込）/ 所要時間：約1時間
**所要時間**　あわじ結び・梅結びポチ袋：2000円（税込）/ 所要時間：約2時間
**ワークショップのお申込みについて**
定員：最大10名　※１名～実施
対象年齢：小学5年生以上






## 5 御影屋

〒676-0041　高砂市高砂町今津町510
TEL：079-440-9031
営業：土日祝平日ともに10:00～17:00

日本最古の帆布「松右衛門帆」を独自に再現し、鞄や小物として販売しています。※工場見学もできます。（要予約）

### 丈夫な帆布！
### 松右衛門帆布を使ったかわいい小物づくり

**ワークショップ概要**

**体験日**　毎週火曜日・金曜日　※要相談
**体験料**　500円（税込）　**所要時間**　約30分
**ワークショップのお申込みについて**
定員：最大10名　※１名～実施








## 3 宇治園

〒676-0064　高砂市高砂町北本町1113-5
TEL：079-443-4581
営業：9:30～17:30
定休日：火曜日

明治37年創業の茶・茶道具の専門店。時には、ワークショップなど様々なイベントも開催しています。



## 2 柴田最正堂（本店）

〒676-0047　高砂市高砂町南本町907-2
TEL：079-442-1737
営業：8:00～18:00
定休日：水曜日

高砂生まれの銘菓がある、明治26年創業の老舗。婚礼やお茶席に好適な品や、手土産としてもおすすめの品があります。



## 1 高砂ハチミツ

〒676-0022　高砂市高砂町浜田町2丁目2-6
　　（駅前観光案内所ちちり）
TEL：079-443-7277

ふぁ～みんSHOP 高砂・かんき・にじいろふぁ～みん・菓茶みきや・ラミドゥアナミ（米田町平津）・ちちりにて販売。



## 2 茶そば・穴子 そらまめ

〒676-0068　高砂市高砂町鍛冶屋町1416-1
TEL：079-443-1735
営業：11:30～14:00（L.O.13:30）
　　17:00～21:00（L.O.20:30）
定休日：火曜日

丁寧に下ごしらえした焼穴子とご飯をふっくらと蒸したそらまめ自慢の一品、穴子せいろ蒸し（1500円）がおすすめです。



## 1 キッサコ ノンヤ

〒676-0064　高砂市高砂町北本町1106-3
TEL：079-443-1588
営業：10:00～18:00
定休日：日・月曜日

豆にこだわり、自家焙煎の本格的コーヒーが味わえる古民家カフェ。どこか懐かしい雰囲気のある店内には様々な種類の机と椅子があり、どこに座るか考えるのも楽しみの1つです。



## 4 下村商店

〒676-0064　高砂市高砂町北本町1172
TEL：079-442-0124
営業：平日・土曜日 6:00～16:00
　　祝日 7:00～16:00
定休日：日曜日

高砂で焼きあなごと言えば「下村商店」。熟練した技で骨を抜き、生醤油でこんがり香ばしく焼きあげ、秘伝のたれをつけて完成です。



## 5 まどいせん

〒676-0053　高砂市高砂町魚町545
TEL：070-5654-2987
営業：11:00～16:00
定休日：水・木・金曜日

雑貨販売やレザークラフト教室、コーヒーやスイーツなど色々楽しめて、温かい雰囲気が漂う場所です。



## 4 パブ&レストラン サン・はーばー

〒676-0065　高砂市高砂町細工町1358
TEL：079-443-0007
営業：10:00～14:00/19:00～24:00
定休日：日曜日

豊富な洋酒とカクテルが揃う場所。ゆったりと落ち着いた大人の雰囲気が楽しめます。
月に2回のJAZZライブは必見！



## 3 ブラッスリーボールロジェ

〒676-0068　高砂市高砂町鍛冶屋町1379
TEL：079-442-5128
営業：11:30～14:00/17:30～22:30
定休日：火曜日

国産大豆を使った豆腐の創作料理をはじめ、様々な料理がコースや単品で楽しめます。
美味しいお酒も揃っており、昼も夜も楽しめます。



## 8 スローカフェ トコトコ

〒676-0049　高砂市高砂町田町477
TEL：079-490-3565
営業：8:00～18:00（lunch 11:30～15:00）
定休日：火曜日

安心・安全な食材を選び、素朴な美味しさを味わうことができる、こだわりの町屋カフェ。
手作りパンは、豆乳だけで練り上げ、当日に焼いたものだけを出しています。



## 7 路地裏のカフェ　KOTI

〒676-0049　高砂市高砂町田町465-1
TEL：080-9126-1712
営業：11:00～18:00（L.O.17:30）
※土日のみ営業

路地裏に佇むオシャレな古民家カフェ。
天井からも太陽の光が差し込む落ち着いた空間の店内。
一味違う内装や、軽食も楽しめます。



## 6 かき幸

〒676-0049　高砂市高砂町田町466
TEL：079-442-0830
営業：12:00～14:00/17:15～21:30
定休日：月曜日

創業大正9年の、高砂町の老舗料理店。
時期によってあなご料理や牡蠣料理を楽しむことができます。

# 白砂青松と青い海



白い砂浜、緑の松林、青い海に浮かぶ人工島。

「日本の白砂青松100選」の一つに認定された県立高砂海浜公園・向島公園は、春から夏の水遊びをはじめ、四季を通して釣りや、散歩に絶好の場所として人気があります。

# 向島公園の『昼の顔』

「花火」を「音楽」と「レーザー」のコラボレーションで打ち上げる、県内先駆けの花火ショー。7000人限定。公園内はイルミネーションで彩られ、公園全体が劇場となって幻想的な世界へと誘ってくれます。
会場内の飲食ブースには多くの出店もあり、イベントを盛り上げています。
※詳細は、Night Fantasy Illusion公式サイトをご覧ください。

# 『夜の顔』

光と音楽、花火で夜空を彩る花火大会

## Night Fantasy Illusion

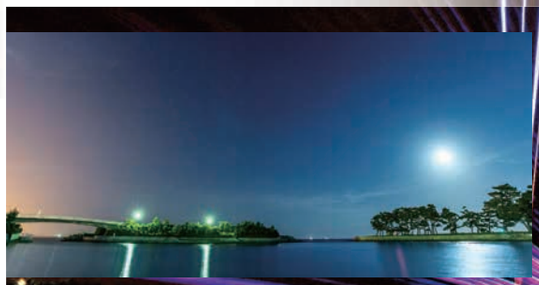
兵庫県立高砂海浜公園
運営：Night Fantasy Illusion実行委員会

**毎年9月頃開催**

ナイトファンタジーイリュージョン　検索

hanabi.tenkomori.tv

#nightfantasyillusion
#高砂花火大会
#ナイトファンタジーイリュージョン





# 一年に一度、星が降りてくる街へ…

## たかさご万灯祭

山陽電鉄高砂駅南側一帯
交通：山陽電鉄高砂駅南側下車すぐ
運営：たかさご万灯祭実行委員会
問い合わせ先：高砂市観光交流ビューロー
TEL：079-441-8076

**毎年秋季の土・日　18:00～**

たかさご万灯祭　検索

mantousait.wixsite.com/takasago

#たかさご万灯祭



10年以上続く高砂市の大きなイベントのひとつです。
高砂町のまち全体がイベント会場となる灯りの祭典！路地を曲がるたびに楽しみに出会うことができ、幻想的な灯りとJAZZの音色に彩られる2日間！歴史的建造物のライトアップをはじめ、6kmにも渡る路地キャンドル、灯りの会場にはフォトスポットがたくさんあり、アート展示、屋台や模擬店で賑わいます。各所で開催される和楽器やJAZZライブもお楽しみいただける音楽と灯りのイベントです。

# 謡曲に所縁のある町「高砂」

## 高砂観月能

**高砂神社能舞台「神遊殿」**

高砂市高砂町東宮町190
交通：山陽電鉄高砂駅より徒歩15分
　　タクシー5分
運営：高砂観月能の会
kangetsuno.org

**毎年10月下旬頃開催**

#高砂観月能





古い歴史のある高砂に最もふさわしいという思いでスタートさせた「高砂観月能」。仕舞、素謡、狂言、能など様々な演目を披露します。境内で荘厳な幽玄の美「能」を月下のもとご堪能いただけます。長い歴史の中で生まれ、育まれ、伝えられてきた日本の伝統芸能を、謡曲『高砂』発祥の地でお楽しみ下さい。

## ～ 1700年以上つづく石の文化 ～

生石神社のご神体である「石乃宝殿」と、古墳時代から近代までの「採石遺跡」を中心とした竜山石採石の歴史。そこから生み出された信仰や文化を現在に伝える、高砂市にしかない貴重な遺跡です。生石神社の建造物や石造物「石乃宝殿」との関係が深い「竜山１号墳」、江戸時代に造られた「観涛処」などもあわせて、国指定史跡の対象となっています。

**2014年7月指定**

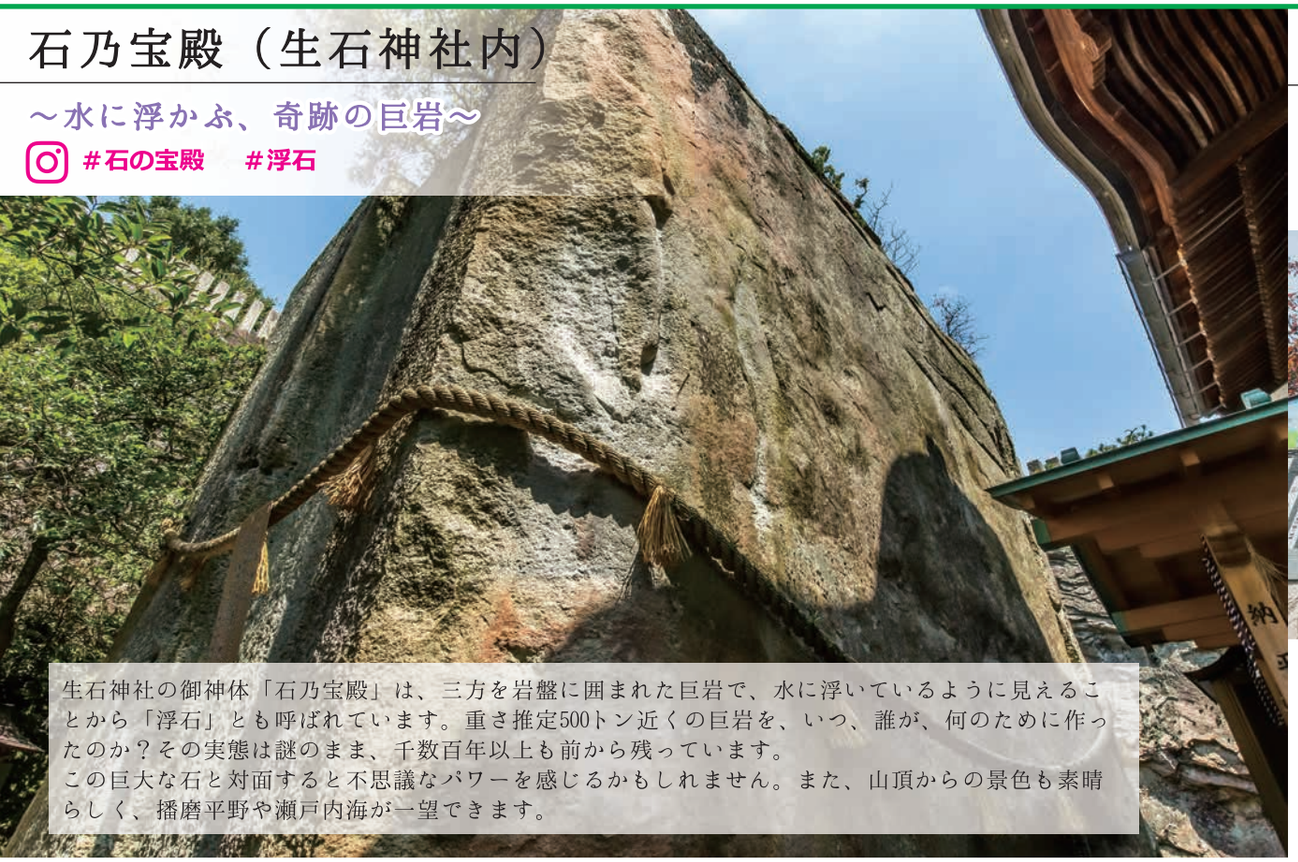
# 国指定史跡 石乃宝殿 及び 竜山石採石遺跡

**国の史跡に指定されました。**

## 石乃宝殿（生石神社内）

～水に浮かぶ、奇跡の巨岩～

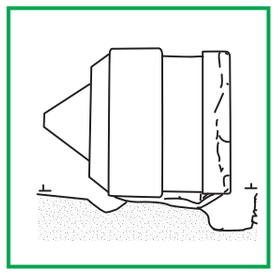
#石の宝殿　#浮石



生石神社の御神体「石乃宝殿」は、三方を岩盤に囲まれた巨岩で、水に浮いているように見えることから「浮石」とも呼ばれています。重さ推定500トン近くの巨岩を、いつ、誰が、何のために作ったのか？その実態は謎のまま、千数百年以上も前から残っています。
この巨大な石と対面すると不思議なパワーを感じるかもしれません。また、山頂からの景色も素晴らしく、播磨平野や瀬戸内海が一望できます。

### 実測図

前面幅　6.44m
前面高　5.50m
奥行　5.58m
突起部幅：2.47m
突起部高　2.94m
突起部奥行：1.81m
体積　約203.5㎥
重量　約465ｔ



**霊岩**

石乃宝殿の分岩といわれる、高さ約3mの霊岩。
全身の力を込めてこの霊岩を押した手で、体の弱いところを撫でると、霊岩に宿る神様より力を授かり、ご利益があるといわれています。




## 日本三奇

古くから「奇跡」と伝えられる建造物がある。
いつ、誰が、何のためにつくったのか･･･明確な答えは、未だない。

**日本三奇とは、【石乃宝殿（いしのほうでん）】【四口の神竈（よんくのしんかま）】【天之逆鉾（あまのさかほこ）】を指します。**

いずれも、神秘的かつ不思議で、人知の及ばない神のなせるものと考えられ、明治39（1906）年発刊の『印南郡誌』に三奇が紹介されています。

**四口の神竈**　宮城県塩竈市（御釜神社）
変事があると、色が変わる謎多き竈

**天之逆鉾**　宮崎県高原町（霧島東神社）
高千穂峰の山頂に突き立てられた謎多き鉾

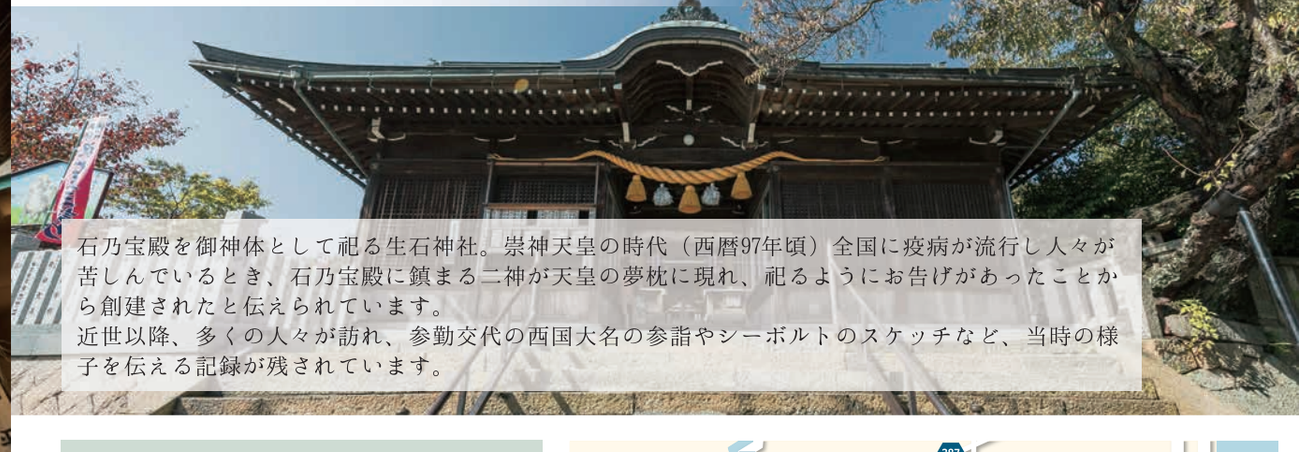


## 石乃宝殿関連遺構

## 生石神社

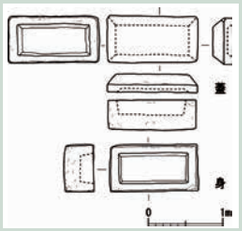
〒676-0823　高砂市阿弥陀町生石171
TEL：079-447-1006
交通：JR宝殿駅より徒歩15分

#生石神社



石乃宝殿を御神体として祀る生石神社。崇神天皇の時代（西暦97年頃）全国に疫病が流行し人々が苦しんでいるとき、石乃宝殿に鎮まる二神が天皇の夢枕に現れ、祀るようにお告げがあったことから創建されたと伝えられています。
近世以降、多くの人々が訪れ、参勤交代の西国大名の参詣やシーボルトのスケッチなど、当時の様子を伝える記録が残されています。

## 竜山1号墳





生石神社駐車場の北側傾斜地にある、古墳時代終末期の古墳です。横穴式石室に、竜山石製家形石棺が埋葬されていました。
7世紀後半頃の古墳と考えられ、石乃宝殿製作との関連性が注目されます。




竜山石は、古墳時代の石棺材として用いられ、滋賀県から山口県の西日本各地に運ばれました。古代宮都の礎石や中世石塔、近世の建築部材などに利用され、現在にいたるまで採石が続いています。

## 竜山石採石遺跡



### ② 県指定 天磐舟（あまのいわふね）（家形石棺）

〒676-0823
高砂市阿弥陀町生石61-1
神が天から下るときに用いた舟という伝承が残っています。古墳時代の家形石棺墓石で、全長3.1m。
伊保山山頂付近にあったが、現在は教育センターにあります。




### ① 観涛処（かんとうしょ）

〒676-0811　高砂市竜山
竜山石の岩盤を垂直に切り出し、「観涛処」の三字を彫った景勝地。江戸時代、天保7年（1836年）に姫路藩家老の河合寸翁が命じて作らせました。
国指定史跡の対象となっています。



## 1 宝殿焼 柿の木窯

〒676-0808　高砂市神爪5-21-2
TEL：090-3052-0929

幕末の頃、盛んであったといわれる播州の宝殿焼。
その幻の窯、幻の陶を追求し、新しい宝殿焼を目指し作陶しています。




## 手びねり陶芸 オリジナル陶器をつくりませんか。

**ワークショップ概要**

**体験日**　毎週木曜日（希望日の一週間前までに要予約）
※その他の曜日は要相談

**受講料**　3000円（税込・土１kg代込）
土１kgは約湯呑2個分の量

**所要時間**　約2時間

**ワークショップのお申込みについて**

定員：最少2名～最大8名
お申込/お問合せ：（一社）高砂市観光交流ビューロー



## 5 高砂市立図書館

〒676-0805　高砂市米田町米田927-21
TEL：079-432-1355
開館：9:30～20:00
交通：JR宝殿駅より徒歩約20分

休館日：毎月第1月曜日、年末年始、特別整理期間
図書館の本を借りるには図書館カードの作成が必要です。
（高砂市にお住まいの方、市内に通勤・通学されている方、または播磨圏域にお住まいの方。免許証・保険証等、住所が確認できるものをお持ち下さい。）
図書館カード1枚で10冊まで借りることができ、貸出期間は14日以内。
詳しくは、高砂市立図書館ホームページをご覧下さい。



## 6 高砂市総合運動公園



〒676-0807　高砂市米田町島526
TEL：079-432-9090
交通：JR宝殿駅より徒歩10分

陸上競技場や野球場、テニスコートや総合体育館が整備された市民スポーツの拠点。
春には花見客で賑わうスポットの一つ。



## 3 Craftsman's竜 くらふとまんず りゅう

〒676-0805　高砂市米田町米田791-1
（松下石材店内）
TEL：079-432-3527
matsushitasekizaiten@gmail.com

竜山石で１つ１つ職人が手作りしている装飾品。
ワークショップでは簡単なアクセサリーを作ることができ、迫力満点の採石場の見学も出来ます。
ワークショップのお申込/お問合せは
（一社）高砂市観光交流ビューローまで



## 2 現代竜山石器石ころRi

〒676-0822　高砂市阿弥陀町魚橋605-2
TEL：079-439-6517
営業時間：10:00～16:00
定休日：日・月・火

竜山石で制作。１つ１つすべて手作りでオンリーワンの贈り物にいかがでしょうか。手に取るとなめらかな手触りで持ちやすい。ビールや焼酎のカップに最適です。



## 1 寿し･料理･てっちり 魚伸

〒676-0824　高砂市阿弥陀町南池317
TEL：079-447-2555
営業：11:30～14:00/17:00～21:00
定休日：月曜日

寿司屋ならではの雰囲気、新鮮なネタ、素材にこだわる寿司好きも唸る人気のお店。
ふっくらとした穴子丼も絶品！



## 4 はま茶

〒676-0802　高砂市米田町古新275-27
TEL：080-9160-8603
営業：9:30～17:00
（ヘアサロンハルが定休日の日は16:00まで）
定休日：毎週月曜日

美容室「hull」の2階にあるカフェはま茶。
店内はおしゃれでゆったりとくつろげる雰囲気です。




## 3 菓茶みきや

〒676-0805　高砂市米田町米田872-52
TEL：079-431-3829
定休日：日曜日・祝日の月曜日
info@mikiya888.com
mikiya888.com

高砂市で安心安全良質な素材を使って丁寧に焼き上げた«笑顔になれる魔法のチーズケーキ»を販売しています。



## 2 Marble CAFÉ 保護猫カフェ まーぶる かふぇ

〒676-0808　高砂市神爪1-5-24　寺本ビル2階
TEL：080-4020-8835
営業：11:30～19:00（L.O.18:30）
定休日：水曜日、木曜日

高砂初の保護猫カフェ。オシャレな空間で、猫ちゃんを見ながら美味しいランチやスイーツはいかがですか？





# 西光寺（武蔵・伊織の像）

〒676-0805　高砂市米田町米田460
TEL：079-432-6584
交通：JR宝殿駅より徒歩10分

＃武蔵伊織の像

後に剣豪宮本武蔵の養子となった宮本（田原）伊織は、高砂市米田町で生まれました。西光寺には、武蔵が記した『五輪書』にちなんだ「五輪之庭」という庭園があり、武蔵・伊織の像が建立されています。
台座には地元の竜山石を使っています。

竜山・米田

# 武蔵伊織ゆかりの地！



## 3 米田天神社

〒676-0805
高砂市米田町米田503
TEL：079-422-4813（泊神社）
交通：JR宝殿駅より徒歩12分

宮本伊織の記した棟札（むなふだ）が残る泊神社（加古川）の分社。
承応2年（1653年）、伊織が泊神社を再建時、その旧社殿を移築したゆかりの神社。



## 4 宮本武蔵・伊織生誕地碑

〒676-0805
高砂市米田町米田（米田天神社南側公園横）

高さ約3.5m、幅約7m、重さ約100tの地元名産の竜山青竜石で造られています。




棟札（復元）



棟札裏（復元）



## 3 御所殿神社

〒676-0011　高砂市荒井町小松原3-7
TEL：079-441-8076（高砂市観光交流ビューロー）

P.4参照。



## 2 小松原三社大神社

〒676-0011　高砂市荒井町小松原3-4-9
TEL：079-442-0658（荒井神社）

鎌倉時代中期、小松原盛忠によって築城された小松原城址にある神社。



## 3 名産神戸肉旭屋

〒676-0072　高砂市伊保港町1-8-13
TEL：079-447-0353
営業：9:30～19:00（祝日は18:30）
定休日：日曜日
www.asahiya-beef.com

平成24年度「五つ星ひょうご」選定商品に選ばれた「高砂コロッケ」は特におすすめです。



## 2 yellow

〒676-0018　高砂市荒井町若宮町7-17
TEL：079-444-2410
営業：平日・土曜日　9:30～18:00
　　日曜日　9:30～16:00
定休日：不定休

素材にこだわったたまごや濃厚なジェラートの販売をしています。たまごの新しい美味しさ、体感して下さいね。



## 1 福助堂

〒676-0018　高砂市荒井町若宮町2-15
TEL：079-442-4112
営業：9:00～20:00
定休日：第2・第4木曜日

高砂にちなんだお菓子を多く製造・販売しています。イオン高砂店や高砂駅前観光案内所ちちりでも販売しています。



## 2 おやつ工房

〒676-0019　高砂市緑丘2-1-40　アスパ高砂１Ｆ
TEL：079-442-6607
営業：10:00～20:00（L.O.19:30）
定休日：無休

アスパ高砂の1階にあるお持ち帰り専門店です。たまご多目の明石焼風たこ焼き・にくてん・たい焼きなど、豊富なメニューで皆様をお待ちしてます。



## 1 クローバー

〒676-0019　高砂市緑丘2-1-40　アスパ高砂１Ｆ
TEL：079-444-3003
営業：9:00～20:00
定休日：無休

アスパ高砂の1階に店舗を構え、豊富なメニューで人気のお店です。店主のイチオシ！にくてんモダンがオススメ！



## 4 魚瀧

〒676-0072　高砂市伊保港町1-9-16
TEL：079-448-5756
営業：8:00～19:00
定休日：日曜日

山電伊保駅そばにある地元に愛される鮮魚店。新鮮なお魚とこだわりのくぎ煮を是非どうぞ。



## 5 すし・かつめし　一平

〒676-0072　高砂市伊保港町1-4-24
TEL：079-447-0650
営業：10:00～21:00
定休日：月曜日（月曜日が祝日の場合、翌火曜日）

かつめしといえばここ、一平。かつめしのネーミングを考案したのはこちらの創業者だそう。皆様に愛される味を是非お召し上がりください。



## 4 Chez M.NAGATSUMA しぇ・えむ・ながつま

〒676-0013　高砂市荒井町蓮池3-5-5
TEL：079-442-4227
定休日：第3火曜日（他臨時休業有）
nagatsuma.jp

キッコーマン特選醤油と地元の新鮮な卵を使ったカステラやオーダーメイドのケーキも充実しています。



## 3 お好み焼き　ミナミ

〒676-0012　高砂市荒井町中新町6-25
TEL：079-442-4846
営業：11:00～14:00 / 17:00～21:30
定休日：第1・第2・第3火曜日

ミナミのにくてんは、生地はもっちりで、やわらかく甘辛く煮込んだ牛すじが特長です。店主のオススメはもちろん、にくてん！





# 荒井神社

〒676-0004　高砂市荒井町千鳥2丁目23-12
TEL：079-442-0658
交通：山陽電鉄荒井駅より徒歩10分

＃荒井神社



欽明天皇在位の頃、大己貴神を荒井浜に祭祀したことに始まると伝えられ、明治41年に恵美酒神社を合祀しました。境内には雌雄の幹が寄り添った形で「結びの松」が生えています。



## 1 あらい浜風公園

〒676-0008　高砂市荒井町新浜2丁目
TEL：079-447-6401（高砂市施設利用振興財団）
交通：山陽荒井駅から徒歩約25分

播磨灘の景色が一望できるスポット。
工場地帯の先に位置し、海岸線からの夕日に映える工場の景色もまた一興。散歩道や複合遊具などもあり憩いの場として親しまれています。
駅から遠いので車で訪れるのがオススメです。




工場見学や食を楽しみ、播磨灘を一望できるあらい浜風公園で散策を。



## 1 香房たかさご食彩縁

〒676-0821　高砂市阿弥陀町長尾199-1
TEL：079-455-9398
営業：10:00～17:00
定休日：水曜日

兵庫県産の素材を使い、さくらやりんごの木で丹念に燻した燻製の芳醇で奥深い香りと旨みをお楽しみ下さい。



## 2 かしわ餅

〒676-0828　高砂市阿弥陀町地徳

一願成就・鹿嶋神社への参道を歩くとかしわ餅を蒸している湯気が漂っています。縁起がいいと云われるかしわ餅をご賞味あれ。



## 4 ウェディングパレス鹿島殿

〒676-0828　高砂市阿弥陀町地徳275-3
TEL：079-447-1002
www.kashimaden.jp

一願成就の神として有名な鹿嶋神社で伝統的な神前式が執り行えます。またレストランもあり、お食事処としても。



## 1 北山鹿島神社

〒676-0826　高砂市阿弥陀町北山20
TEL：079-441-8076
（高砂市観光交流ビューロー）

正保2年創建。御祭神は武雷之命。神社の左側には北山登山口があり、岩場を登ると眼下に眺望が開けます。




## 2 高砂成田山守護尊寺

〒676-0827　高砂市阿弥陀町阿弥陀680-1
TEL：079-448-8088
営業：8:30～17:30 / 10月～2月 8:30～17:00

1957年（昭和32年）に厄除けで名高い不動明王を勧請し、祈願寺として開山。県内外から自動車の交通安全祈願・開運厄除・家内安全・社運隆昌など参拝者が多く来られます。



## 3 時光寺

〒676-0813　高砂市時光寺町12-18
TEL：079-447-1134

古来より「時光寺への三度の参詣（さんけい）は、善光寺への一度の参詣に当たる」とされ、別名「播磨の善光寺」とも呼ばれています。



## 6 米田大師寺

〒676-0828　高砂市阿弥陀町地徳

鹿嶋神社の参道にある米田大師寺。厄除けの仏様として祀られる弘法大師は、「お大師さま」と呼ばれ、多くの人々に親しまれています。



## 5 経政神社

〒676-0821　高砂市阿弥陀町長尾

知る人ぞ知る、平家ゆかりの神社。平清盛の甥である但馬守平経正（政）が祀られています。



# 一願成就 鹿嶋神社

〒676-0828　高砂市阿弥陀町地徳279
TEL：079-447-4676
交通：JR曽根駅より徒歩30分、車10分

＃鹿嶋神社

聖武天皇の勅願によって、播磨の国、国分寺の東院として大日寺が建立された時、鎮護の神として奉祀されました。
現在は、一人一願心を定めて御詣りする時、その願いは必ず叶えられる霊験のあらたかなるをもって〝一願成就の神〟として遠方からの参拝者も絶えません。



## 大鳥居

平成10年（1998年）高さ26m 幅35mのチタン製の大鳥居が建立されました。
全国でも五番目の大きさを誇ります。




阿弥陀・中筋

# 自然を満喫するなら山に囲まれたこちらのエリアはいかがでしょうか？

# 高御位山

たかみくらやま

＃高御位山



高御位山の雲海



高御位山から見る日の出



冬の高御位山



秋・紅葉の高御位山

高砂市と加古川市の境にある標高約300mの高御位山は、別名「播磨富士」と呼ばれています。頂上では市街をはじめ、遠く瀬戸内海の向こうまで見渡すことができ、季節によって様々な景色を楽しめ、初日の出のスポットとしても多くの人で賑わいます。



爪蓮華：11月



リンドウ：9～11月



ツルボ：5～10月



ササユリ：6～7月



ミツバツツジ：4～5月



トサミズキ：3～4月



ライオン岩



長尾岩壁



高御位山神社



桶居山



馬の背ルート



冬の高御位山

おススメ！撮影スポット



## 7 市ノ池公園

〒676-0828　高砂市阿弥陀町地徳301
TEL：079-447-3754（キャンプ場管理棟）
TEL：079-447-6401
（みどりの相談所 11月～3月の平日）

四季折々の季節を楽しむことができる高御位山のふもとに位置しています。園内には、テントサイトやバーベキューサイトなど、キャンプ設備も完備され、大自然の中でアウトドアを思う存分楽しめます。

### バーベキューサイトのご案内

| 期間 | 曜日 | 昼の部 | 夜の部 |
|---|---|---|---|
| 春休み・夏休み | 全日 | ○ | ○ |
| オンシーズン 4～10月（春・夏休みを除く） | 平日 | ○ | × |
| | 土日祝日 | ○ | ○ |
| オフシーズン 11～3月（春休みを除く） | 平日・年末年始 | × | × |
| | 土日祝日 | ○ | × |

昼の部 10:00～14:00/夜の部 16:00～20:00

**利用料：無料（※原則予約不可）**

### テントサイトのご案内

| 利用料 | 期間 | 平日 | 土日祝 |
|---|---|---|---|
| 日帰り（1000円） | 春・夏休み | 10:00～21:00 | 10:00～21:00 |
| | 4～10月 | 10:00～17:00 | 10:00～21:00 |
| | 11～3月 | × | 10:00～17:00 |
| 1泊2日（2000円） | 春・夏休み | 10:00～翌10:00 | 10:00～翌10:00 |
| | 4～10月 | × | 10:00～翌10:00 |
| | 11～3月 | × | × |

※その他の利用料や詳細につきましては、市野池公園キャンプ場管理棟（079-447-3754）までお問い合わせください。

**利用料：有料（※利用日の2ヶ月前から予約可）**



## 8 鹿島・扇平自然公園

高砂市阿弥陀町地徳

背後にそびえたつ高御位山の自然露出岩には、春の約2000本の桜、夏の新緑、秋の紅葉が色を添えます。年間を通じて目で楽しむことが出来るスポットです。

## 登山口のご案内

### 馬の背・鹿島神社登山口

山陽電鉄高砂駅またはJR曽根駅から、**コミュニティバス（じょうとんバス）鹿島神社行**で『北山』『鹿島神社』下車

JR宝殿駅から**神姫バス鹿島神社行**で『北池』『北山口』『鹿島神社』下車

### 中所登山口

JR曽根駅より徒歩約10分

**各登山口の場所に関しては、阿弥陀・中筋エリア（P.19）にも記載されております。**

## 播磨アルプス全山縦走コース



# 学問の神と霊松を巡って



## 曽根天満宮

〒676-0082　高砂市曽根町2286-1
TEL：079-447-0645
交通：山陽電鉄曽根駅から徒歩5分
www.tenmangu.net

＃曽根天満宮

学問の神様、菅原道真を祀る神社として知られる曽根天満宮。
延喜の頃(901年)、九州大宰府に流される途中、この辺りに立ち寄った道真が「我に罪なくば栄えよ」と手植えしたのが後の霊松「曽根の松」です。
その後、播磨に流された道真の四男淳茂が、この松のそばに父を祀ったのが曽根天満宮の始まりとされています。



ひょうたん　扇　盃

**の形をした石を発見！**

神社外壁に使われている竜山石の中に、昔の石工さんの遊び心が。
ぜひ探してみてください！



## 1 日笠山

〒676-0082　高砂市曽根町・松陽付近
山電曽根駅から徒歩20分

晴天の日には遠く淡路島、家島など播磨灘を一望できます。ボタン桜の名所として知られ、シーズンには大勢の人が訪れます。
秋には、のじぎくが見事に咲き誇ります。

### 曽根周辺マップ








## 2 鹿島川

〒676-0082　高砂市曽根町・松陽付近
山電曽根駅から徒歩10分

高御位山(たかみくらやま)の麓(ふもと)から瀬戸内海に流れ込む鹿島川。
春には両岸の桜が咲き、高砂市曽根町付近では、桜のトンネルを楽しむことも出来ます。



## 3 旧入江家住宅

〒676-0082　高砂市曽根町493-1
TEL：079-448-8255
（高砂市教育委員会　生涯学習課　文化財係）

【開館日】11月第１土日/イベント開催時（不定期）

入江家は塩田を営み、庄屋を務めていました。
天明5年（1785年）の主屋をはじめ屋敷構えが江戸時代の姿のまま保存されています。また、文人墨客(ぶんじんぼっかく)を招いた新座敷も残されています。
（兵庫県指定文化財）



## 1 御菓子処 安田大納言

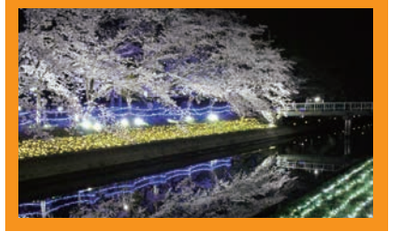
〒676-0082　高砂市曽根町1776-1
TEL：049-447-0228
営業：9:00～18:00
定休日：なし

昭和6年創業。桜で有名な日笠山のふもとに本店を構え、伝統の味を守り続けています。

### 周辺季節イベント情報

**スプリングフェスタ鹿島川**

高砂市曽根町（松陽高校周辺）で、桜並木が満開を迎えると、模擬店やミニコンサートなどが開催されます。



### 北浜周辺エリア






## 2 お好み焼き ふじわら

〒676-0082　高砂市曽根町2240-12
TEL：079-447-7156
営業：材料が無くなり次第終了
定休日：水曜日

にくてんをお目当てのお客様が、県外からもお越しになります。



## 1 お好み焼き 和楽

〒676-0077　高砂市松陽1-8-12
TEL：079-446-0048
営業：11:30～14:00/17:30～21:00
定休日：月曜日（祝日の場合営業）

店主のオススメはすじ焼！メニューの中にある「てん天」は一風変わったにくてんのフライ。一度お試しを！



## 1 くろさわお好み焼き店

〒671-0123　高砂市北浜町西浜1208-11
TEL：079-254-1956
営業：10:00～18:30
定休日：水曜日

すべてのメニューに自慢のジャガイモ・こんにゃく入り。
おすすめ：ねぎ焼きシリーズ



## 2 藤の井

〒671-0123　高砂市北浜町西浜

高砂市指定文化財。西浜の船頭にこの地を案内された八幡大神が一夜の宿のお礼にと、この井戸を掘り与えたと伝えられています。この井戸水は里人ばかりでなく、近隣の人々の生活用水に大いに役立っていました。



## 1 ひょうたん池・コウノトリ夢公園

〒671-0123　高砂市北浜町西浜

ひょうたん池の近くにある新池にコウノトリが飛来したのを機に、再来を願ってひょうたん池を改修、平成24年に完成。運がよければコウノトリに会えるかもしれません。

高砂町内（※高砂MAP P1・P2参照）
TEL：079-441-8076
問い合わせ先：高砂市観光交流ビューロー



## 体育の日の前日と前々日　荒井神社/小松原三社大神社

見どころは江戸時代から伝わるという「仁輪加太鼓」。
ある物語を題材に、少女が扮する着飾った舞子を先導に、屋台が町内を巡行します。舞台では、物語に関する造り物と太鼓を乗せた屋台が担がれ、舞子・太鼓を叩く乗子・屋台を担ぐ練子が囃子の掛け合いを行いながら、寸劇を展開していきます。
また、仁輪加太鼓は平成22年12月に高砂市指定文化財に指定されています。



## 体育の日の前日と前々日　米田天神社

加古川市の泊神社の分社として、宮本伊織（宮本武蔵の養子）が再建したといわれる米田天神社。
町内では屋台巡行が行われ、２日目には町内の観衆が集まる五町練り合わせが見どころになっています。





## 10月 10日·11日　高砂神社

屋台練り合わせのほか、昔から名高いのが舟渡御神事（3年に1度）で、江戸時代に書かれた『播州名所巡覧図絵』にも記されています。

**3年に1度行われる**

### 舟渡御神事　ふなとぎょしんじ

宵宮の10日、神社を出立した神輿が町内を練り歩いて船着き場に着くと、締め込み姿の若衆が神輿を頭上に支えて御座船に遷し、舟渡御が始まります。高張り提灯を掲げた供奉船を従えた御座船が着くと、若衆が水中に入り、神輿を陸上げし、神社へと還御されます。その醸しだす幻想的な雰囲気は、この秋祭り一番のクライマックスです。次回は2019年です。





## 10月 第三日曜とその前日の土曜　生石神社

見ものは神輿の勇壮な練り合わせ。祭神である大穴牟遅命を祀る赤い神輿を若者が、少毘古那命を祀る黄色い神輿を年配の者が担ぎ、ぶつけ合い激しく練り合わせます。神の強さを象徴する「赤囃子」と呼ばれる神賑（かみにぎわい）では、神の警護役の猿田彦に扮した人物が、周りで囃したてる若者たちを棒で追い払います。





## 10月 13日·14日　曽根天満宮

最大の見どころは豪華絢爛（けんらん）な屋台の練り合わせ。色鮮やかな布団屋台が威勢よく練り合わさると、祭りは最高潮になります。
神事も多彩で、竹を激しく地面に叩きつけて割る『竹割』や兵庫県重要無形民俗文化財に指定されている『一ツ物』は頭人と呼ばれる童児が頭に『八』の字を書き、山鳥の羽を立てた花笠をかぶり、馬の背に乗って宮入りをします。





## 10月 14日·15日　大塩天満宮

兵庫県重要無形民族文化財指定の「毛獅子」の舞い。大太鼓と横笛にあわせておこなう、荒獅子本来の豪快な舞いが特長で、中でも獅子頭を高く差し上げておこなう「道中舞」は祭りを一層盛り上げます。







高砂市の魅力を広く市内外に情報発信していただき、市の知名度とイメージアップや観光のみならず、自然・歴史・文化・商業・産業など住みよいまち高砂市のアピールにご協力いただいてます！

## 高砂市応援大使

# 魅力いっぱい！高砂の工場見学

## 吉田 裕　吉本新喜劇

やっと高砂市に認めてもらえた！素敵な仲間がいる地元を僕ができることで応援します！

**プロフィール**

**吉田 裕（よしだ　ゆたか）**

所　　属：㈱よしもとクリエイティブ・エージェンシー 吉本新喜劇
生年月日：1979年3月29日
出 身 地：兵庫県高砂市米田町
血 液 型：B型
入　　団：2005年9月（第1個目金の卵オーディション）
趣　　味：バイク、旅行
特　　技：弾き語り、水泳
資格免許：普通自動車免許、自動二輪
ＮＳＣ：大阪校23期生

【テレビレギュラー番組】
・MBS「よしもと新喜劇」（土・不定期）
※2018年4月より
・K-CAT「末成由美のおいしおまっせ@末成亭」（第1・第3（水））
【映画】
・よしもと新喜劇　映画「よしもと新喜劇映画 女子高生探偵あいちゃん」
【出演番組】
・YTV「あさパラ」
・NTV「ガキの使いやあらへんで」笑ってはいけない科学博士
・ABC「八方・今田のよしもと楽屋ニュース」
・KTV「関ジャニ∞のジャニ勉」
など







「生石神社」「西光寺」「宮本武蔵・伊織生誕地碑」にて



### キッコーマン食品(株) 高砂工場

高砂市荒井町新浜1-1-1
TEL：079-442-2150（見学専用）
交通：山陽電鉄荒井駅より西へ徒歩約13分
www.kikkoman.co.jp




**工場見学概要**

キッコーマン食品（株）高砂工場では、しょうゆの製造を映像展示とあわせ実際に目の当たりにし、ご見学いただけます。
もろみの熟成の様子や、しょうゆの色・香りを体験でき、ご家族や団体での見学、小学校の校外学習まで、しょうゆの醸造についてどなたにも楽しく理解していただくことができます。

**見学時間**　平日 10:00～11:00/13:30～14:30
**見学料**　無料（要予約）　**参加人数**　2名様より
**所要時間**　見学約60分　体験見学約120分（20名様以上）

## 花＊花　おのまきこ・こじまいづみ

地元高砂には、思い出がいっぱい！これからも高砂市の魅力発信に協力します！

**プロフィール**

**花＊花（はな　はな）**
**こじま　いづみ / おの　まきこ**
**高砂市高砂町、阿弥陀町出身：歌手**

2000年7月
ワーナーミュージックジャパンより「あ～よかった -setagaya mix-」でメジャーデビュー。
同年末「第51回NHK紅白歌合戦」に当時は異例のスピードで出場が決定。その後「さよなら大好きな人」などシングル7枚、アルバム7枚をリリース。
全国各地でライブ・レギュラーラジオなどで活躍する。
2003年活動を休止。
2009年3月
花＊花誕生10周年を機に再始動を発表。
大阪・神戸・東京にて10周年記念ツアーを開催。
その後もアルバムを2枚リリースし全国各地でライブを行う。
2015年8月7日（はなの日）、デビュー15周年を記念して原点回帰をコンセプトにしたアルバム「アンダーウェア」をリリース。
同年12月に神戸朝日ホールにて
15周年記念ツアーファイナルを開催した。
両者が歌を創り、ピアノを弾き歌うというスタイルに、洋邦問わずカバー曲なども織り交ぜたライブで、
日常を紡いだオリジナル曲の多くは幅広い層から共感されている。







「高砂神社」「十輪寺」「兵庫県立高砂海浜公園」にて



### サントリープロダクツ(株) 高砂工場

高砂市荒井町新浜2-2-1
TEL：079-444-2922（サントリー高砂工場ご案内係）平日9:00～12:00 / 13:00～17:00
交通：山陽電鉄荒井駅より徒歩約15分
www.suntory.co.jp




**工場見学概要**

缶コーヒー「BOSS」や、緑茶「伊右衛門」などの清涼飲料ができるまでを、ご案内しております。飲み物が入っている、高さ5.5mの大きなタンクや、1分間に最大1550本のスピードで缶に飲み物をつめる機械を間近で見ることができます。
また、サントリーが取り組んでいる環境保全活動についてもご紹介いたします。見学終了後には試飲も行っており、新商品や期間限定商品などをお楽しみいただけます。

**見学時間**　平日 10:30～11:30/14:30～15:30　**参加人数**　2人～40人
**見学料**　無料（要予約）　**所要時間**　60分

## 金村 義明

高砂市の美味しいものを紹介していたら応援大使になりました。これからももっとアピールしていきます！

**プロフィール**

**金村 義明（かねむら　よしあき）**

**野球解説者**
**1963年8月27日、兵庫県宝塚市生まれ。**

1981年、報徳学園高等学校在学中に春夏で甲子園連続出場。
エースで4番、春は初戦で槙原寛巳（元巨人）がエースの大府に敗れたが、夏は荒木大輔（元ヤクルト→横浜）の早実、工藤公康（元西武→ダイエー→巨人）の名古屋電気など並みいる強豪を下し優勝。
2大会を通じて5割7分7厘、3本塁打と高打率。
同年、ドラフト1位 で近鉄に入団、三塁手に転向。
『いてまえ打線』の中核をなす。

1995年、FAで中日へ。

1997年、トレードで西武へ移籍。勝負強い右バッターとして活躍。

1999年引退。
通算成績は、1262試合、打率2割5分8厘、127本塁打、487打点。
現在は「現場主義」をモットーに、野球評論を中心に幅広い分野で活躍中。







「生石神社」「鹿嶋神社」にて



### (有)鎌田商店

高砂市曽根町445-8
TEL：079-447-1751
営業：9:00～18:00
定休日：日・祝

**懐かしさのかわらぬ美味しさ**
**爽やかな風味、今も健在**

**見学のお問い合わせ**　9:00～17:00
**ご予約方法**　前日までにお電話
**見学日・開始時間**　問い合わせ時に相談
**見学料**　無料　**※見学は夏季のみとなっております。**



# 結びのまち からの おくりもの












ふるさと納税
たかさご未来寄附金
は
ふるさと
チョイス
からお申込み
いただけます！

## ちちり
駅前観光案内所





**高砂のお土産や観光情報をご案内します。**

〒676-0022　高砂市高砂町浜田町2丁目2-6　TEL：079-443-7277
営業時間：10:00～17:00　定休日：月曜日・木曜日



# 高砂ゆかりの偉人たち



## 工楽松右衛門
（くらくまつえもん）

わが国の帆布製造の始祖として知られる初代工楽松右衛門は、寛保3年（1743年）高砂町東宮町に生まれました。
従来の帆布に改良を加え、厚地大幅物の帆布の織り上げに成功し、「松右衛門帆」と呼ばれて全国の帆船に用いられるようになりました。
また、幕府の命を受けて択捉島に埠頭（ふとう）を築くなど優れた築港技術者として活躍しました。
彼の功績を称え、高砂神社の境内には銅像が建てられています。



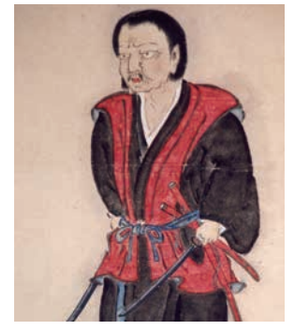
## 天竺徳兵衛
（てんじくとくべえ）

慶長17年（1612年）高砂町船頭町に生まれました。
京都の豪商角蔵了以（りょうい）の船頭前橋清兵衛の書役としてシャム（現在のタイ王国）にわたるなど交易に従事しました。
徳兵衛はこの間の体験を見聞記にまとめました。この話はやがて歌舞伎の題材になり、ことに四世・鶴屋南北の「天竺徳兵衛韓噺（いこくばなし）」は大当たりをとりました。
高砂町横町の善立寺にその墓が残っています。



## 宮本(田原)伊織
（みやもと　たはら　いおり）

慶長17年（1612年）米田村の田原甚兵衛久光の次男として生まれました。
15歳の時、明石藩小笠原忠政に出仕し、時を同じくして小笠原忠政に客分として仕え、剣豪として広く知られていた宮本武蔵に見出され、武蔵の養子となりました。若干20歳にして家老に。その後主君小笠原忠政の転封に伴って九州豊前小倉藩に移り、筆頭家老まで出世しました。また、生まれ故郷である米田村を含む17ヶ村を氏子（うじこ）とする泊神社や米田天神社の本殿を再建し、地元にも貢献しました。
泊神社に残された棟札には、伊織が自らの出自や一族の経歴、宮本武蔵の養子になった経緯などが記されています。



## 宮本武蔵
（みやもとむさし）

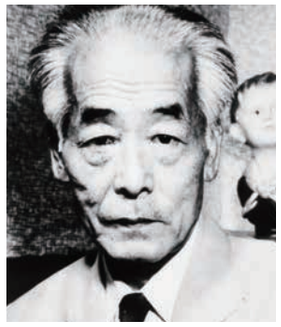
剣豪として広く知られる武蔵の出生には諸説ありますが、自ら記した兵法書『五輪書』には生国播磨と記しています。
また18世紀の中頃には米田隣村の医師平野庸脩が編纂した『播磨鑑』や息子伊織が寄進した泊神社の棟札にも、伊織自身が武蔵は播磨の生まれと記しています。

最近の研究では、米田村田原家の生まれとの説もあり、未だ謎多く研究が進められています。



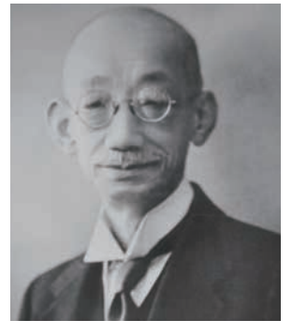
## 堀尾青史
（ほりおせいし）

1914年、高砂町生まれ、生家は「薬仙寺」（十輪寺隣）。本名は勉。77年の生涯で、紙芝居約260本を作成。紙芝居の理論研究や実演のあり方、作家育成等に力を尽くし、教育紙芝居の地歩を築きました。常に、ドラマ性のある、観客を引き込むような作品作りを信条とし、紙芝居を芸術の域に高めました。
また、宮沢賢治研究の第一人者（第一回宮沢賢治賞受賞）として、賢治の作品を初めて紙芝居化しました。新見南吉、浜田広介、小川未明、トルストイなど内外の名作児童文学の紙芝居化に心血を注ぎ、その高い脚色力、製作手法には定評があります。



## 佐々木すぐる
（ささきすぐる）

私たちに馴染の深い童謡「月の砂漠」や「お山の杉の子」「青い鳥」を作曲した佐々木すぐるは、明治25年（1892年）阿弥陀町魚橋に生まれました。
作曲のほか、青い鳥児童合唱団を主宰するなど一生を音楽活動に捧げ、その功績には特筆するものがあります。
阿弥陀町魚橋の正連寺には森繁久弥氏の筆の顕彰碑が建立されています。



## 美濃部達吉
（みのべたつきち）

明治6年（1873年）高砂町に生まれました。
幼少の頃より神童と呼ばれ、東京帝国大学法学部を卒業後、教授として憲法を講じています。
その後、達吉の論じた「天皇機関説」が問題となり、著書「憲法撮要」などが発売中止となり、その後、公職を退かざるを得なくなりました。
しかし、敗戦後、憲法改正の際には顧問として活躍し、新憲法の研究を重ね、次々と著書を執筆しました。



## 山片蟠桃
（やまがたばんとう）

13歳で大阪に出て両替商升屋平右衛門に仕え、主人が亡くなると幼主を支えて仙台藩の蔵元として藩財政を立て直したほか、多くの大名貸しをつとめる大商人となりました。
また、生来の学問好きで、晩年に大作「夢の代」を著しました。
同書における蟠桃の合理主義的な思想は、今なお高い評価を受けています。